

ACANTHUS



2号館

特集

2号館の紹介

Index

理事長挨拶	2	【連載】研究室への誘い 保健福祉学部臨床工学科	12
学長挨拶	4	Club & Circle クラブ・サークル	14
「学園創立120周年記念感謝の会」を開催!	5	附属図書館にラーニングcommons開設	16
【特集】2号館の紹介	6	2015(平成27)年度 保護者会・後援会役員会	16
新入生宿泊セミナー・遍路ウォーク	7	2014(平成26)年度 決算状況	17
2015(平成27)年度 入学式	7	「在学生保護者のためのキャンパス見学会」のお知らせ	17
2014(平成26)年度の就職概況と今後の見通し	8	2015(平成27)年度 新任教職員プロフィール	18
Close-up campus クローズアップキャンパス	9	TOPICS お知らせ	19





徳島キャンパス

1895 学園創立当時の校舎



1926 3階建て木造校舎



1973 徳島キャンパス



1980 香川キャンパス



学校法人 村崎学園 創立120周年記念感謝の会



理事長 村崎 正人

式辞

風薫る今日、2015（平成27）年5月17日(日)この佳き日に学校法人村崎学園創立120周年記念感謝の会を開催いたしましたところ、大変お忙しい中を文部科学省より、文部科学事務次官山中伸一様、徳島県知事 飯泉嘉門様、香川県知事 浜田恵造様、全私学連合代表、日本私立大学協会会長文化学園大学 理事長、学長 大沼淳先生 日本高等教育評価機構理事長、金沢工業大学学長、学長 黒田壽二先生、日本私立短期大学協会副会長 山口短期大学理事長、学長 麻生隆史先生、日本私立中学高等学校連合会会長 富士見丘学園理事長、富士見丘中学・高等学校校長 吉田晋先生を始め、北は北海道から南は沖縄にいたる各界の皆さま

方、また、私どもは現在、世界11カ国37校と学術交流協定を締結して、国際交流を推進してきましたが、本学園と深い関係にある方々、また私たちが大変お世話になっております皆さま方1,130人の多数のご来学を得まして感謝の会が挙行できますことは、私はもとより本学園関係者にとりましては、無上の光栄と存じ、改めて衷心よりお礼申し上げます。高いところからではございますが、皆さま方ありがとうございます。

さて、私は今から2つのことについてお話をさせていただきたいと思えます。1つは「学園の歴史」、2つめは「教育への信頼（安心と安全）」についてです。

第一の「学園の歴史」であります。我が村崎学園は1895（明治28）年、村崎サイ先生が「女も独り立ちが出来ねばならぬ」と「女性の自立」を唱え、その信念のもと、私立裁縫専修学校を創立しました。その後120年間、さまざまな紆余曲折がありましたが、一貫して「自立協同」の建学精神のもと「人間の自立と学芸の独立」を掲げ、特定の政治・思想・宗教等は学内にいれないという信念のもと教育を行って参りました。

そして、現在では本学園は、徳島文理大学附属幼稚園・徳島文理小学校・徳島文理中学校・徳島文理高等学校・徳島文理大学短期大学部・徳島文理大

学・徳島文理大学専攻科・徳島文理大学専門職大学院・徳島文理大学大学院博士課程までを持つ、一貫教育のできる西日本唯一の総合学園になることができました。

もう少し歴史を振り返ってみますと、日本の女子教育は1875（明治8）年に跡見女学校、1885（明治18）年に明治女学校、1886（明治19）年に共立女学校が創立され、そして、1895（明治28）年村崎サイ先生は、全国第10位の都市で出店のあった徳島に日本で4番目に私立裁縫専修学校を創立したのであります。しかし、当時は女子には教育はいらぬと言われた時代で、最初の生徒は開学して5カ月後であり、待望の生徒は54歳の人でありました。

このように苦労を重ねて、学園も大きく発展しましたが、1945（昭和20）年7月4日の徳島空襲で村崎サイ先生は物心全部をささげた校舎とともに戦災で殉職したのであります。

その後何が残ったか、それは心であり、建学精神であります。私は、10年前、創立110周年の記念事業の一つとして、この「むらさきホール」を建設いたしました。音楽学部は、前理事長村崎凡人先生が、戦争のさ中、フィリピンで教会のパイプオルガンの音色を聴いて心癒され、生きて帰れるものならば音楽教育を行いたいという純粋な思いで開設したものであります、

その思いを具体的にあらわしたものが、パイプオルガンやこのホールであり、それらは学園にとりましては大きな宝となっております。

このように先人の教育に対する熱誠心を忘れてはなりません。多くの先任教職員の方々が日夜寝食を忘れ、学園の経営・教育の発展のためにご努力くださいましたことに改めて感謝の意を表したいと思えます。

第二の「教育への信頼(安心と安全)」であります

1、安心とは、いい教育・わかる教育を行うこと、また、幼児・児童・生徒・学生へは、親切に接することでもあります。

2、安全とは、施設・設備などの教育環境を整えることであります。

第一の安心であります。幼稚園・小学校・中学校・高等学校の15カ年教育を考える時、幼稚園教育ではのびのび教育、子どもの目線に立った教育の実践であります。園庭や菜園では、花や野菜を育て、収穫の喜びや食べる楽しさを味わい、万物に優しい心や感謝の気持ちを学ばせたいと思えます。

小学校では、①正しく、②強く、③美しくの教訓の下、1年生から4年生までは、のびやかに強い心と健やかな身体を作り、小学校5・6年では、中学校とのつながりを意識した教育を、

中学校1・2年では、中高一貫の特色をいかした先取り教育を、中学3年から高校3年まではそれぞれの将来に向けて進学指導を中核において人間教育を行っております。

大学における高等教育の基本的な考え方としては、21世紀は「知識基盤社会」の時代であると思えます。高等教育は、個人の性格形成上できわめて重要であり、世界各国特にアジア近隣の諸国での高等教育改革の急速な進展はめざましいものがありますが、今日では高等教育の質と量について考えなければなりません。

高等教育システムや高等教育政策そのものの総合力が問われる時代になり、我が学園も我が国の将来にわたっての高等教育に責任を負わなくてはなりません。教育改革と同時に教職員の意識改革もしていただかねばなりません。

第二の安全であります。1989（平成元）年より今日まで27年かかりましたが本学の建物はすべて建て替えが完了し、徳島校・香川校全ての建物が耐震化されました。

また、学園は1983（昭和58）年に創立者ならびに私の故郷、小豆島を望む香川県さぬき市志度町の地に文学部を、1989（平成元）年には香川県ならびに志度町、香川県民の熱望により工学部を開設し、2004（平成16）年香川薬学部を、2012（平成24）年保健福祉学部を創設いたしました。

本学は、この20年間に名実ともに大きく変貌いたしました。

創立100周年当時は、大学院3研究科、6学部、17学科でありましたが、現在では、大学院、専門職大学院を含め6研究科、9学部26学科を持つ学園となり、感慨無量となるものを覚えますとともに先人の恩義に深甚の感謝を捧げ、すでに物故された方々のご冥福を心からお祈りし、これまで本学園を支えていただきました児童・生徒・学生・教職員・保護者・同窓会の方々、また色々ご指導、ご援助を賜りました文部科学省・徳島県・香川県、その他関係各位ならびに本日お集まりの方々から感謝いたします。

創立120周年は一通過点であります。今や教育環境と研究環境が整ったのを機会にさらなる飛躍を期さなければならぬと考えております。今や全学園が一体となり、全ての人の心を合わせて学園の使命を果たし、世の負託に応えるため、120周年を迎えた今年を大きな節目の年にしなければならぬと、思いを新たにしています。

本日お集まりの皆さま方は、今日まで我が学園をお育てくださいました。これからも村崎学園をご支援くださるものと確信しておりますが、今後ともよろしくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。私の感謝の挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。



120年の時を超えて、さらなる飛躍へ

香川キャンパス



創立120周年記念感謝の会



「学園創立120周年記念感謝の会」を開催！

2015（平成27）年5月17日（日）、海外を含む招待者1,130人の参集のもと、「学園創立120周年記念感謝の会」を、徳島キャンパスで開催しました。

むらさきホールで行われた式典は、徳島文理大学管弦楽団による演奏で幕を開け、式辞では村崎正人理事長が、創立者村崎サイ先生、前理事長村崎凡人先生の功績を紹介し、建学の精神「自立協同」のもと、教育に邁進してきた沿革を述べるとともに、学園関係者に感謝の意を伝え、今後、120周年を一つの通過点とし、「安心と安全」を道標として、教育研究および施設設備の充実を図り社会の期待に応え、さらなる飛躍をめざすことを誓いました。

また、山中伸一文部科学事務次官、飯泉嘉門徳島県知事、浜田恵造香川県知事および大沼淳全私学連合代表・日本私立大学協会会長が、それぞれ祝辞を述べられ、本学園への期待とさらなる発展を祈念されました。

式典の後、総合体育館において祝宴

を催し、黒田壽二日本高等教育評価機構理事長の乾杯の首領により歓談の輪が広がりました。来場者との交流の深

まりのなかで、徳島文理大学連による阿波踊りが披露され、祝宴に一層の華やぎを添えました。



創立120周年記念式典



学長 桐野 豊

学園創立120周年を迎えましたこと、誠に慶賀に堪えません。120周年は人間に例えるならば、還暦を2回経験したことになります。最初の還暦は1955（昭和30）年でした。それから2015（平成27）年までの第2のサイクルにおける本学の発展はまことにめざましいものでした。

さて、これから、第3のサイクルに

入るところですが、本学がこれからめざすところは、やはり大学としての3つの使命「教育、研究、地域貢献」を真摯に追究することに尽きると確信しています。

まず、「教育・研究」に関しましては、次の3つの目標を実現していきたいと考えます。

- (1) 教育・研究力の飛躍的強化
- (2) 学生の学力の飛躍的向上
- (3) 学生の満足度の飛躍的向上

第3の使命である「地域貢献」につきましても、組織的に取り組んで参りたいと思います。地方創生が日本の国の将来を決定するとの認識の下、現代は大学が「地域連携・地域貢献」に一層の力を注ぐべき時代でありましょう。地域と連携し、地域に貢献するためには、まず地域の歴史・文化・産業・経済等、地域の現状について知ることが必須です。このため、昨年度より「地域学」と題する講義を全学部の1年生に対して、5回開講しています。その

中で、四国の歴史・文化・経済に大きく関係する「四国遍路」につきましては座学だけでなく、実際に遍路道を歩く体験「遍路ウォーク」を実施しています。また、総合政策学部による遍路道の清掃活動、建築デザイン学科の高開の石積み調査、メディアデザイン学科の木屋平地域活性化、文化財学科による小豆島の寺院の古文書や讃岐の古墳調査、薬学部と保健福祉学部による「健康セミナー」などの例に見るように、各学部学科の学生が地域に学び取り組みを展開しています。

これらの活動をさらに発展させ、地域のさまざまな人々と連携して、地域の産業や健康問題などの課題解決をめざすために、地域連携センターを徳島・香川両キャンパスに設置しました。本学が文字通り地域の知の拠点となり、地域創生を担う多くの人材を輩出する教育研究活動を展開し、3つの目標を達成するという決意を固めて、第3のサイクルの歴史を刻んでいきたいと思

2号館の紹介

学園創立120周年記念事業の一環として建設中であった「2号館」が完成しました。1階には約30人収容可能な「コミュニティスタジオ」、学生の健康を管理する「保健センター」、大学と地域が連携した催し等に積極的に関わりその振興を担っていく「地域連携センター」、理学療法の一つである水治療を習得する「水治療実習室」、学生が自由に自習可能なアクティ

ブラウンジやエントランスホールを配置しています。2階には最大80人の収容が可能な「アカンサススタジオ(講義室)」を配置し、可動式の間仕切りで部屋の大きさが変えられます。さらに2・3階連動のスペースには450席を擁する階段教室形式の「アカンサスホール」を配置しました。このホールではコンサート・演劇・講演会・講義等、多目的な利用が可能です。

「2号館」ではこれまで以上に学生の学びの支援に活用するとともに、学部学科の垣根を越えた協力体制を構築するだけでなく学外の各種団体とも連携し、異世代交流・地域活性化・健康長寿・防災減災をテーマにしたプロジェクトを進め、地域に根ざした大学として、また学生が地域について学ぶ機会を積極的に提供する場として活用していきます。



1階 アクティブラウンジ



1階 エントランスホール



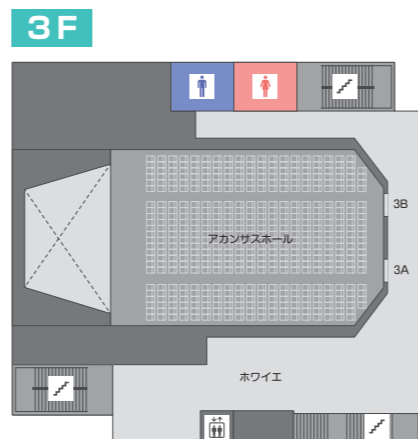
1階 水治療実習室



2階 アカンサススタジオ A・B



2・3階 アカンサスホール



徳島
キャンパス

香川
キャンパス

新入生宿泊セミナー 遍路ウォーク

本学では毎年、新入生を対象とした「新入生宿泊セミナー」や「遍路ウォーク」を実施しています。

4月には宿泊・交流活動を通して、学生同士・教員との親睦を深める「新入生宿泊セミナー」が行われます。2015(平成27)年度、徳島キャンパスでは人間生活学部、保健福祉学部(理学療法学科)、短期大学部が、香川キャンパスでは香川薬学部、

理工学部、文学部、保健福祉学部が学部独自の宿泊セミナーを実施しました。

今回は香川キャンパスで4月5日(日)から4日間にわたり行われた宿泊セミナーについてご紹介します。前半(文学部、保健福祉学部)と後半(香川薬学部、理工学部)に分かれて瀬戸内海国立公園の素晴らしい景観を臨む「屋敷少年自然の家」にバスで移動しました。カッター

(オールを使って漕ぐ訓練用ボート)訓練では瀬戸の島々を眺めながら航海をし、体育館ではソフトバレーや卓球に汗を流し、野外炊飯ではみんなで協力しカレーライスを作り親睦を深めることができました。研修後のアンケート結果では、参加者の9割以上が、「友人づくりができてとても良かった。来年度も実施すべきである」と回答しており、目的を十分に達成できました。

6月には、本学の建学精神を深く学ぶ「文理学」の一環として地元の歴史・地理・文化を直接見て、聞いて、感じて、学ぶ「地域学(遍路ウォーク)」が行われました。徳島キャンパスでは各学科が1番札所(霊山寺)や6番札所(安楽寺)、18番札所(恩山寺)などから出発し、遍路道を歩くという貴重な時間を過ごす中で、あまり話したことのない学生同士がお互いを気遣いながら歩くことで協調性の大切さを学びました。なお、香川キャンパスは、11月26日(日)に86番札所(志度寺)から88番札所(大窪寺)まで「遍路ウォーク」を実施する予定です。



みんなでカレーライス作り(香川キャンパス)



一番札所 霊山寺(短期大学部)

徳島
キャンパス

香川
キャンパス

2015(平成27)年度 入学式

2015(平成27)年度入学式が4月2日(日)徳島キャンパスで、4月3日(日)香川キャンパスで華やかに挙行され、新生活をスタートさせました。

まず、桐野学長が入学許可を宣言し、式辞では、「よき友と出会い、何事にも

知的好奇心をもって、大学生活を送ってほしい」と激励しました。新入生を代表して、音楽学部音楽学科の遠藤はるかさん(徳島キャンパス)と香川薬学部薬学科の藤井尚貴さん(香川キャンパス)が、それぞれ「自立協同の建学の精神のもと

勉学に励み、社会で期待され活躍できる能力を培うことを誓います」と決意を述べました。式典終了後には、音楽学部・短期大学部音楽科による演奏も行われ、歓迎ムードに包まれました。

新入生は徳島キャンパス・香川キャンパス合わせて大学院・専門職大学院15人、専攻科16人、3年次編入学45人、大学学部974人、短期大学部121人、合計1,171人。



徳島キャンパス



香川キャンパス

2014(平成26)年度の就職概況と今後の見通し

●2014(平成26)年度の就職概況

2014(平成26)年度の本学卒業生の就職率は、97.0%となりました。全国的な景気回復基調もあり、過去2番目の高さでした。内訳は大学が97.0%、短大が97.2%で厚生労働省・文部科学省の共同調査(国公立大学を含む抽出調査)の全国平均(大学96.7%、短大95.6%)をともに上回りました。

公務員関係(教員を除く)の就職者は118人で、全就職者に占める割合が14.7%と高い率となりました。

●今後の見通し

企業の採用意欲は依然高く、リーマン・ショック前の水準へ回復すると思われます。新卒大学生への求人倍率が、前年より0.12ポイント向上し1.73倍となったとの調査結果も出ています。しかし、業種や会社規模によって倍率に大きな差があり、企業を選定する際には注意が必要です。米国の政策金利の不透明感や中国・韓国経済の低迷等の不安要素も残っています。

また、多くの企業が学生の質を重視し、満足する学生でなければ採用しない状況が続いていることから、目的意識をもって、大学生活をいかに充実させていくかが大切となります。

さらに、経済団体連合会の指針で、選考開始が8月1日からと大きく後倒しとなったことで、企業の採用活動の方法や時期が

多様化してきています。インターンシップや企業説明会を選考に結びつける企業が増えてきています。経済団体連合会に加入していない多くの企業が、昨年度までと同じスケジュールで採用活動をしている実態もあります。油断して、受験のチャンスを逃がすことがないように、早い段階から準備することが肝要です。

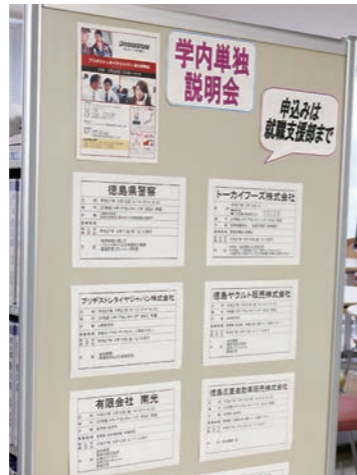
●本学の就職支援

本学の就職支援は、各種情報の提供や担当者による個別相談はもちろんのこと、ガイダンス・就職セミナー・就職試験対策集中講座・学内合同企業説明会・就活バス・

公務員説明会・就職体験発表会など、多岐にわたりきめ細かく実施しているのが特徴です。

また、就職戦線の状況を踏まえ、その都度見直しを図っています。特に、本年度は学生と企業との一層のマッチングを図るため、小規模や単独での学内企業説明会の取り組みを強化しました。開催回数は5月からの2カ月間ですでに15回を超えました。

しかし、大切なことは、学生の皆さんの意欲と行動です。しっかりと学業を深めるなかで職業観・勤労観を培い、早い時期から就職活動への準備をしていくことが望まれます。



学内企業説明会(単独) 風景



キャリアガイダンス



就職ガイダンス



インターンシップガイダンス



就職セミナー 年間18回実施



学内合同企業説明会(企業・病院関係)



学内合同企業説明会(薬局等)

国際交流

日韓国交正常化50周年

学校法人村崎学園創立120周年記念祝賀演奏会開催

2015(平成27)年6月18日(木)に本学むらさきホールで、日韓国交正常化50周年と村崎学園創立120周年を記念した祝賀演奏会が開催されました。韓国から、宣和芸術学校教師の金恩希さんと韓国音楽協会副理事長の崔陽玉さんが来学し、クラシックや韓国民謡をピアノで演奏されました。

金さんは、モーツァルトの「きらきら星変奏曲」やショパンの「バラード第1番」など誰もが知るクラシックの名曲を、崔さんは、韓国の伝統民謡「パウゴゲ」と、韓国作曲家が現代ピアノ曲にアレン

ジした「アリラン」を披露しました。曲が終わる度、会場から大きな拍手が送られました。

この演奏会は、音楽を通して日本と韓国の絆をより深めるため、また、本学音楽学部を海外に広く知っていただくために企画したものです。演奏を聴いた人は「ダイナミックかつ繊細なピアノの音色に聴き入った」と大変好評で、演奏して下さったお二人も「温かく迎えてくれて感動した。ぜひ、また徳島文理大学で演奏したい」とおっしゃっていました。今後も定期的な開催を考えています。



聴衆より拍手を送られる崔さん(左)、金さん(右)

音楽学部

音楽学部音楽学科

声楽コース卒業生の活躍

岡坂弘毅さん(テノール)と楠野麻衣さん(ソプラノ)は本学を卒業後に上京、イタリアでも研鑽を積み、声楽コンクール等で



岡坂弘毅さん 楠野麻衣さん

入賞を果たし、現在は藤原歌劇団の正団員として活躍しています。

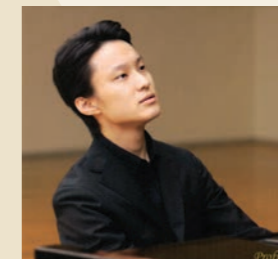
藤原歌劇団は日本最古のオペラ団体で、公演活動等や歌手・スタッフの人材育成を通して国の芸術文化の発展にも寄与しており、現在は数百人の歌手が在籍しています。

多数の歌手の中から選ばれた者に公演の出演チャンスが与えられますが、岡坂さんと楠野さんは7月4日(土)に東京の日生劇場で上演された藤原歌劇団オペラ「ランスへの旅」のキャストに見事選ばれました。

岡坂さんは高度なテクニックを要求されるリーベンスコフ役を軽やかに歌い上げ好評を博しました。また、モデスティーナ役で本公演デビューを飾った楠野さんは、今秋10月12日(月)に香川のアルファあなぶきホールで上演される、文化庁の推進事業 藤原歌劇団公演オペラ「愛の妙薬」にジャンネッタ役で出演予定です。本学からプロの厳しい世界へ羽ばたき、なお挑戦を続けている彼らに、今後もさらなる成長と活躍を期待します。

祝! プロピアニストデビュー

スペシャルインタビュー



音楽学部音楽学科4年 丸尾晃久

3歳からピアノを始める。大阪夕陽丘学園高等学校音楽コース卒業。現在、徳島文理大学音楽学部4年生。G. マリオッティ氏に師事。第10回高槻ピアノコンクール優秀賞。第5回徳島音楽コンクール銅賞。第16回堺ピアノコンクール金賞。

大阪アーティスト協会 所属

●なぜ徳島文理大学音楽学部で学ぼうと思ったのですか?

環境・設備の良さ(勉強に集中できる環境、むらさきホール、素晴らしい楽器がある等の設備の良さ)や、マリオッティ学部長のレッスンを受講できるからです。

●プロをめざそうとしたきっかけは?

ピアノの道に進んだからにはプロをめざしたいと思ったからです。

●プロになるためにレッスンや自主練習、日常生活などで日々心がけていることは何ですか?

- ①前日に明日やることの計画を立てる。
- ②周りの人に感謝をする。
- ③睡眠をきちんととる。
- ④大きな目標とそれを達成するための小さな目標を立てる。
- ⑤毎日全力を尽くす。
- ⑥失敗を引きずらず、次にいかす。

●今後どのようなプロをめざしたいですか?

最初の音から聴衆を音楽に引きこめるような音楽家になることです。

リサイタル情報

2015年11月28日(土) 17:00開演(16:30開場)
 大阪倶楽部4Fホール
 入場料: 一般¥2,500 / 学生¥1,500
※小学生よりご購入いただけます。学生券は大阪アーティスト協会のみ取り扱い。

チケット販売: 大阪アーティスト協会 050-5510-9645 ローソンチケット 0570-084-005 (Lコード: 57601)

理工学部

ASME Fellow 受賞と日本伝熱学会名誉会員として顕彰

理工学部機械創造工学科 武石賢一郎教授は2015（平成27）年6月17日（水）カナダのモントリオールで開催されたASME IGTI（米国機械学会国際ガスタービン研究所）主催第60回国際ガスタービン会議の席で、ASME（米国機械学会）Fellowの称号を授与されました。

武石教授は長年ガスタービンの伝熱研究に取り組んでこられ、この度、タービン動静翼の冷却技術を駆使して、ガスタービンの性能向上に最も効果のあるタービン入口温度を900℃レベルから1600℃まで上昇させることに成功しました。このタービン動静翼の冷却技術は、ジェットエンジンの高性能化・信頼性向上において最先端の軍事技術であることから機密性が高く、最新の技術開発を行うためには独自の研究開発が必要でした。そのため、同教授は三菱重工業で製作の900℃～1500℃の産業用・航空用ガスタービンのタービン動静翼の全てを冷却設計するとともに、その設計に必要な実験的・数値解析的伝熱研究を行ってきました。また、その研究成果の中でも、回転する実機相似状態でのタービン動静翼面上におけるフィルム冷却の測定に世界で初めて成功したということが、世界的に注目されてきました。

2004（平成16）年大阪大学に移ってからは、さらにガスタービンの基礎的な伝熱研究を進め、1600℃級J形タービン動静翼に採用されたフィルム冷却構造を開発し、ASMEでは国際ガスタービン伝熱委員会に所属し、国際会議の運営を行うとともに、「Trans. ASME J. of Turbomachinery」の副編集長にも選ばれました。これらの数々の功績が認められ、今回ASME Fellow 受賞となりました。

また、2015（平成27）年6月4日（水）福岡で開催された公益社団法人日本伝熱学会総会の席では、伝熱学の進展に顕著な寄与を行ったとして、同会名誉会員として顕彰されました。

武石教授は今回のASME Fellow 受賞と日本伝熱学会名誉会員という栄誉をもとに、本学の教育・研究に尽力していきたいと後進の指導に意欲を語ってくださいました。

【タービン動静翼のフィルム冷却技術とは】圧縮機で製作した冷却空気の一部をタービン翼面上に吹き出し、冷却空気の膜を形成し、メタルで製作されたタービンを超高温ガスから遮熱する技術のことです。



ASME Fellow 受賞を喜ばれる武石教授（左）



日本伝熱学会で顕彰される武石教授

香川薬学部

「2015年度 第10回 ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を受賞

本学工学研究科ナノ物質工学専攻博士後期課程卒業で、現在香川薬学部博士研究員である向井理紗さんは2015（平成27）年7月8日（水）、常陸宮妃殿下ご臨席のもと、フランス大使公邸にて「2015年度 第10回 ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を受賞しました。今年で創設10周年を迎えた本賞は、日本の若手女性科学者が研究活動を継続できるよう奨励することを目的とし、これまでに36人が受賞し、その後国内外で活躍しています。

向井さんは、「今回このような素晴らしい賞をいただくことができ、大変うれしく思っています。私は、白血病発症機序に関する研究を行っています。血液のがんである白血病の治療法

は、化学療法や骨髄移植が中心ですが、重篤な副作用が問題となっています。そのため、がん化に至るメカニズムの解明は新たな治療薬の開発や発症予防法の確立に必要不可欠です。私の研究成果によって1日でも早く、そして1人でも多くの患者さんが救われることを願い、現在も研究を続けています。今回このような栄えある賞を受賞できたことは、自らの研究生活の励みになっただけでなく、後輩、特に「リケジョ（理系女子）」の皆さんに夢と希望を与えられたのではないかと感じています。今後も徳島文理大学の名に恥じないよう日々研究に邁進していきたいと思っております」と今後の抱負を語ってくださいました。



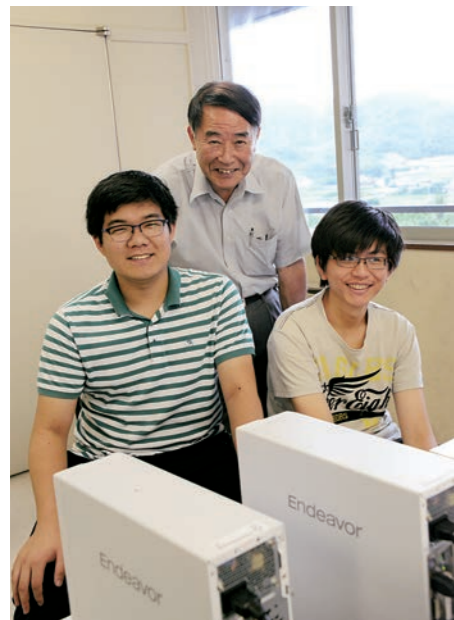
（左端から）審査員の黒川清先生、向井さん、指導教員の大島先生



受賞者たちと喜びあう向井さん（左端）

理工学部

理工学部機械創造工学科に2人の留学生



（左端から）李さん、吉田機械創造工学科長、劉さん

2015（平成27）年4月から、台湾出身の劉 濟銘さんおよび韓国出身の李 承曼さんを受け入れました。

劉さんは、学術交流協定校である台湾の逢甲大学工学部機械電子工学科との交換留学生として、本学理工学部機械創造工学科2年に所属して、9月まで半年間の留学予定です。現在20単位履修しており、将来、大学院への進学をめざして専門分野の模索を行っており、留学することで物事に対する積極性を培いたいと言っています。

李さんは、高大連携校である安山江西高等学校卒業で、本学理工学部機械創造工学科1年に所属して4年間学びます。このような長期留学生は、理工学部では初めてのことです。この期間を通して、日本の大学教育の良さと日本の科学技術の現況を学ぶとともに、将来は大学院に進むことも目標の一つにしています。

また、劉さんはソフトボールの経験があり、李さんは剣道を長年やっており、二人とも明るい性格で、ほかの学生とすぐになじむことができました。また大変優秀で、学科の学生の模範となっています。

人間生活学部

子どもたちとのふれあい ―おぎゃっと21へ参加―

今年もゴールデンウィーク中の5月3日（日）・4日（月）にアスティとくしまで開催された、「次世代育成支援事業 はぐくみとくしま おぎゃっと21」に児童学科の学生が参加しました。今年のテーマは「わんぱく大冒険」で、トロッコやトンネルなどの子どもたちが大好きな体験型のおそびを取り入れました。本学のブースにおいては、ただ楽しいだけでなく、安全に配慮された環境の中で、想像力を培えるような場面を展開しています。心を込めて作った手作りのお土産も用意して子どもたちを迎えました。手間暇をかけて作り上げたブースは、終日多くの子どもたちや保護者で賑わいました。

たくさんのおもたちの笑顔に出会えたことは、将来教員や保育士をめざす学生たちにとって、モチベーションの向上や学習意欲の向上につながりました。また、おぎゃっと21の準備や当日の活動の中で、学生自身も色々創意工夫をしたり、先

輩から指導を受けたりして、内容の充実とコミュニケーションの取り方などを学ぶこともできました。

児童学科では、魅力ある先生になるために、このような体験学習を年間通してたくさん取り入れています。





保健福祉学部臨床工学科

【連載】研究室への誘い

- 保健福祉学部臨床工学科 講師 後藤 朱里
- 保健福祉学部臨床工学科 4年 森 央人
- 保健福祉学部臨床工学科 4年 夕部 萌恵

●後藤先生にお聞きします。臨床工学科の学びのポイントを教えてください。

本学科は医療職である臨床工学技士を養成する学科です。臨床工学技士が操作や保守管理を行う医療機器の構造や原理について講義や実習を通じて学んでいます。また、機器についての知識だけでなく患者さんの状態把握を行える臨床工学技士に育ってほしいので生体検査データについても学びます。さまざまな検査データから推測される病態や必要な治療法について学習します。臨床工学という医療分野と工学分野との架け橋を学ぶ分野なので、他職種とは違った目線で医療について学ぶことができます。他学科や他の養成校とは違い実際に現場で活躍されている臨床工学技士の方と関わり、その中で実際の現場での知識や物事に対する考え方を身につけることができるので

より実践的なことが学べるとともに、体験できる学科だと思います。

●臨床工学科にはどんな研究室（各研究室の研究テーマなど）がありますか？

石原国彦 教授

専門：機械力学、流体力学、音響工学など
 担当科目：医用機械工学概論、医用物性工学、医用工学演習 など
 研究：ボイラ・熱交換器で発生する大音響騒音に対する穴あき板を用いた対策に関する研究、模擬血管による硬さと脈波伝達速度の関係 など、曲り管から発生する流体音特性に関する研究 など

中川隆文 教授

専門：統計的信号処理、生体磁気工学、数値シミュレーション など

担当科目：医用電気工学、医用電子工学、医用工学演習 など
 研究：情報ハイディング技術と医療への応用 など

吉田知司 教授

専門：ニューラルネットワークによる画像処理、画像処理応用 など
 担当科目：医療情報工学、システム工学、医療統計学演習 など
 研究：視線追跡装置の精度向上について など

福田信夫 教授（医師）

専門：循環器内科学、循環器病学、心臓カテーテル治療 など
 担当科目：臨床医学総論、医学概論、医療倫理学 など
 研究：医学教育における高精度 3D 動画について など

上田雅彦 教授（臨床工学技士）
 専門：滅菌・消毒学、人工呼吸療法、造血幹細胞移植 など
 担当科目：医療関係法規、臨床工学演習、呼吸管理技術演習 など
 研究：高速度カメラを用いた IABP パルーンの特性評価 など

氏原友三郎 教授（臨床工学技士）
 専門：手術機器・設備、医療機器安全管理、医療機器中央管理 など
 担当科目：生体機能代行技術学、危機管理演習、循環管理技術演習 など
 研究：体外循環用 MOCK による PCPS 性能について など

榎野 真 講師（臨床工学技士）
 専門：血液浄化療法、簡易心電計開発、医療機器管理 など
 担当科目：浄化管理技術演習、救急救命演習、医療コミュニケーション など
 研究：血液と透析液の向流操作および並流操作の透析効率における検討 など

西岡幹人 講師（臨床工学技士）
 専門：慢性血液透析、災害医療、機器管理 など
 担当科目：医療安全管理学、基礎医学演習、臨床実習事前学習 など
 研究：慢性透析患者の周術期血液データの動向 など

後藤朱里 講師（臨床工学技士）
 専門：血液凝固機序、医用材料と血液凝固反応、医用治療機器 など
 担当科目：医用治療機器学、生体計測技術学演習、早期医療体験学習 など
 研究：抗凝固剤の濃度が血液凝固時間に与える影響、温度変化が血液凝固時間に与える影響、生体材料の違いによる血液凝固時間の評価、圧変化による血

液回路内凝固解析、血液ポンプにおける溶血評価 など

●学生たちの雰囲気はいかがですか？

先輩、後輩関係なく仲が良く、お互いに意見を言い合うことができる環境にあります。また、学生は皆、非常に明るく元気で、教員との間の壁もなく、何でも話し相談できる関係が構築されています。

●続いて森さん、夕部さんにお聞きします。現在所属している研究室を選んだきっかけ、理由を教えてください。

森：臨床工学技士は機器ばかりを操作しているイメージがありますが、体の構造や病気などについての知識がなければ取り組めない業務がたくさんあります。特に人工心肺装置や血液透析療法など血液を取り扱う治療が多いため、治療と血液との反応に興味を持ち現在の研究室を選びました。
 夕部：先生は重要なポイントを分かりやすく説明してくださるので、そんな先生のもとで学ぶことで自身を成長させたいと感じたためです。

●現在の研究内容を教えてください。

森：医療現場で用いられている器具にはさまざまな材料が使用されています。人工心肺回路や血液透析回路などは血液と接触するため血液凝固反応が生じ、治療の妨げになる場合があります。医療器具に用いられている材料と血液との接触により、血液凝固反応を活性化させるトロンビン様物質が大きな原因だと考えられています。医療器具に用いられているさまざまな種類の材料と血液凝固反応を活

発化させる物質との関係性について実験に取り組んでいます。
 夕部：血液透析療法で用いられている回路の一部である動脈・静脈チャンパ内の流動状態について研究しています。治療中の血液の流れや乱流やよどみについて、研究室の他の学生と一緒に実験を行っています。

●臨床工学科の面白い授業はなんですか？

森：血液浄化療法に関する授業です。
 夕部：緊急時の患者さんへの対応の仕方や心構えについて学ぶ救命救急演習です。救命講習などにも実際に取り組み、認定を受けています。

●今後どのような研究をしたいですか？

森：医療現場によっては、治療だけではなく、現場ならではの研究に取り組んでいる施設があり、私も業務に取り組むだけではなく研究などにも挑戦したいと考えています。
 夕部：患者さんの QOL（生活の質）を向上できるような研究に取り組み、臨床工学技士として患者さんのケアを考えていきたいです。

●これからの目標、将来の夢を教えてください。

森：まずは国家試験合格が目標です。将来的には患者さんの心に寄り添い、医療スタッフという境を越えて患者さんが身近に感じることができる臨床工学技士になりたいです。
 夕部：人をおのずと笑顔にできる思いやりのある臨床工学技士になりたいです。



徳島
キャンパス

女子サッカー部練習場 完成

2015(平成27)年7月末、女子サッカー部練習場が完成しました。女子サッカー部は昨年まで、大学のグラウンド(新浜)で練習を行っていましたが、7月より全面人工芝の専用練習場に移り、フィールドコンディションを気にすることなくよりプレーに専念できる環境となっていま

す。部員たちは「ボールの止まり具合が全然違います!」「ボールのイレギュラーが少なくなりました」と大満足の様子です。

新しい練習場で今まで以上に練習に励んでいる部員たちのこれからに期待したいです。



女子サッカー部



人工芝

女子サッカー部専用練習場

面積：8000㎡
設備：照明、倉庫、ボール当て専用壁、ヘディング練習用ポール、クラブハウス
仕様：ハイブリッドターフXXP(人工芝)

※スパイクの抜けがよく、雨に濡れた時の滑り特性も抜群です。さらに熱を蓄積しにくい特殊カラーゴムチップを入れることで人工芝表面の温度上昇も抑制しています。



サッカー場建設中



サッカー場全景

香川
キャンパス

第70回 和歌山国体公開競技パワーリフティング代表選手選考大会 パワーリフティング 105kg 級優勝 国体出場権獲得



香川薬学部薬学科6年
木原 優さん

私は強くてかっこいい体をめざしています。今より強くなれるように始めたパワーリフティングも、もう

6年目を迎えます。この6年間じっくり鍛えてきた結果、昨年4月に、ジュニアでは日本記録を樹立し、今年には国体への出場権を得ることができました。国体では入賞および自己ベスト更新をめざしてがんばりたいと思います。

また国体後もトレーニングに励み、より均整のとれた体をめざしたいと思います。文武両道を目標にこれからもがんばりますので、応援よろしくお願いたします。



クラブ・サークル紹介



徳島キャンパス

みなさんこんにちは! 和太鼓部億です。チーム名である、「億」というのは、「人が音を心で奏でる」という創部当初からの志より名付けられたもので、今もこの志を胸に部員一同日々練習に励んでおります。

部員数は1年生から3年生まで合わせて10人ですが、10月の山城祭を最後に3年生は引退となるので、大学祭に向けての練習にはより一層熱が入ります。部員のほとんどが大学に入学してから和太鼓を始めた人ばかりで、先輩から後輩に引き継いでいく形で現在に至ります。

主な活動は、1カ月に1~2回の頻度で、徳島市内外問わずボランティアで演奏しております。今後は、祭りや地域の施設でのイベントで演奏させていただく予定です。



香川キャンパス

マジック・ジャグリング部は、毎週月・火曜日に学生サポートセンター2階で活動しています。活動内容は、個人のやりたいマジックやジャグリングの技の練習や、お客さんに楽しんでいただくためのトーク術やテクニックの修得に日々励んでいます。

部員全員が、大学入学から始めた初心者ですが、先輩に教えていただいたり、部員同志でアイデアを出し合ったり、アドバイスしながら技の習得や種類を増やしていくと努力しています。

今年度は、昨年度と同様に杏樹祭でのパフォーマンス、幼稚園や小学校、老人ホームなどへのボランティア(パフォーマンス披露)活動をはじめ、マジックの大会での上位入賞をめざし部員一丸となりがんばっています。同好会から部に昇格したばかりですが、皆様のご声援よろしくお願いたします。



クラブ・サークル大会結果

徳島キャンパス

- 卓球部
 - ・第49回春季リーグ四国学生卓球選手権大会/男子団体2部リーグ2位
 - ・第66回四国地区大学総合体育大会/女子団体3位

- 女子バスケットボール部
 - ・全四国大学新人バスケットボール大会/優勝
 - 最優秀選手賞 人間生活学科3年 上里愛花
 - 優秀選手賞 人間生活学科3年 大城 彩
 - ・第32回日本女子学生選抜バスケットバレーボール大会/中四国代表選手選抜者
 - 心理学科3年 小原 彩
 - 人間生活学科3年 上里愛花
 - 児童学科2年 岩崎綾子
 - ・第66回四国地区大学総合体育大会/優勝

- 男子バスケットボール部
 - ・第19回日本男子学生選抜バスケットバレーボール大会/中四国代表選手選抜者
 - 薬学部1年 武富海志

- 準硬式野球部
 - ・四国地区大学準硬式野球春季リーグ戦大会/優勝
 - ・文部科学大臣杯第67回全日本大学準硬式野球選手権大会/出場決定
 - ・第66回四国地区大学総合体育大会/ベスト4進出

- 弓道部
 - ・県下四大学定期戦
 - 男子団体4位
 - 女子団体優勝
 - 男子個人優勝
 - 児童学科1年 徳永雅士
 - 女子個人優勝
 - 児童学科1年 高本明日香
 - 女子個人3位
 - 児童学科2年 堀江知世
 - ・第66回四国地区大学総合体育大会
 - 男子個人優勝
 - 食物栄養学科1年 三原拓真

- バドミントン部
 - ・徳島県学生バドミントン選手権
 - 女子1部ダブルスベスト4進出
 - 総合政策学科3年 佐藤理沙
 - 看護学科2年 涌嶋麻樹
 - 男子1部シングルスベスト4進出
 - 総合政策学科3年 山下大貴
 - ・春季徳島四大学定期戦
 - 男子団体A3位

- 男子団体B2位
- 女子団体2位

- フットサル部
 - ・第66回四国地区大学総合体育大会/優勝

- 水泳部
 - ・第66回四国地区大学総合体育大会
 - 女子50メートル自由形2位
 - 女子50メートルバタフライ2位
 - 理学療法学科1年 新岡茜里
 - 女子50メートル背泳ぎ2位
 - 女子100メートル背泳ぎ3位
 - 理学療法学科1年 片山 遥

- 軟式野球部
 - ・第66回四国地区大学総合体育大会/3位
 - ・第5回夏のセンバツ全日本軟式野球大会出場決定

- 硬式テニス部
 - ・第66回四国地区大学総合体育大会/女子団体4位

香川キャンパス

- 陸上競技部
 - ・第37回徳島陸上カーニバル

- 三段跳(14m23cm)優勝
- 保健福祉学部4年 榎原功輝
- ・第66回徳島県陸上競技選手権大会
- 三段跳(14m18cm)2位
- 走幅跳(7m01cm)4位
- 保健福祉学部4年 榎原功輝
- ・第69回中国四国学生陸上競技対校選手権大会
- ハンマー投げ5位入賞
- 文学部1年 森 大樹
- ・第66回四国地区大学総合体育大会
- ハンマー投げ優勝
- 文学部1年 森 大樹
- 100mハードル2位
- 工学研究科ナノ物質工学専攻1年 品田直毅

- トレーニング部
 - ・第37回四国パワーリフティング選手権大会/ノーギア93kg級優勝
 - 香川薬学部3年 有澤史也
 - ・第70回和歌山国体公開競技パワーリフティング代表選手選考大会/パワーリフティング105kg級優勝
 - 香川薬学部6年 木原 優
 - ・第21回2015年香川県オープンブッシュ・プルスーパー選手権大会/66kg級優勝
 - 香川薬学部3年 穴吹隆人

附属図書館にラーニングcommons開設

このたび、文部科学省の補助金申請に応募した図書館ラーニングcommons新設が採択され、2015（平成27）年3月末に完成しました。

開放的な空間には、議論を深める場であるアクティブスペースが中央に、そしてプレゼンテーションスペースが2カ所設置されています。さまざまな情報資源を活用して、自己表現や知的交流を深める格好の施設として活用されています。

40台の机や椅子は可動式で、教室型でも車座でも配置可能です。電子黒板用ノートパソコンが2台、加えて40台が館内貸出しされています。無線LANも併せて増設し、接続可能な箇所も広がりました。

授業・研修・自主学習等、今後ますます需要が広がっていくと思います。



プレゼンテーションスペース



アクティブスペース



◆ 2014（平成26）年度 決算状況

学校法人村崎学園の2014（平成26）年度決算状況は、表Ⅰ資金収支計算書、表Ⅱ消費収支計算書、表Ⅲ貸借対照表のとおりです。

資金収支計算書は、2014（平成26）年度の諸活動に対応するすべての資金の収入と支出を表しています。

消費収支計算書は、企業会計でいえば損益計算書にあたるもので、当会計年度の消費収入および消費支出の内容および均衡の状態を表しています。

消費収入は、帰属収入（負債とならない収入：学生生徒等納

付金・手数料・寄付金・補助金等の収入をいい、借入金収入・前受金収入等の負債となる収入は含まない）から、基本金組入額を控除したものです。

消費支出は人件費・教育研究経費・管理経費等、学校法人の経常的な支出をいいます。

貸借対照表は、資産の部と負債・基本金の部および消費収支差額の部からなり、当会計年度末の財産の状態を表しています。

いずれも学校法人会計基準に基づき計算および表記しています。

表Ⅰ 資金収支計算書 (単位：百万円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	7,829	人件費支出	5,104
手数料収入	102	教育研究経費支出	2,289
寄付金収入	32	管理経費支出	525
補助金収入	1,565	施設関係支出	1,858
資産運用収入	1,188	設備関係支出	296
資産売却収入	0	資産運用支出	1,505
事業収入	133	その他の支出	2,023
雑収入	441		
前受金収入	1,248		
その他の収入	2,906		
資金収入調整勘定	△2,076	資金支出調整勘定	△158
前年度繰越支払資金	9,210	次年度繰越支払資金	9,138
収入の部合計	22,579	支出の部合計	22,579

表Ⅲ 貸借対照表 (単位：百万円)

科目	金額
資産の部	合計 99,078
固定資産	89,106
流動資産	9,971
負債の部	合計 3,027
固定負債	1,595
流動負債	1,432
基本金の部	合計 103,237
消費収支差額の部	合計 △7,187
負債の部・基本金の部および消費収支差額の部	合計 99,078

表Ⅱ 消費収支計算書 (単位：百万円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	7,829	人件費	5,048
手数料	102	教育研究経費	4,566
寄付金	88	管理経費	695
補助金	1,565	資産処分差額	159
資産運用収入	1,188		
事業収入	133		
雑収入	353		
帰属収入合計	11,258		
基本金組入額合計	925		
消費収入の部合計	10,333	消費支出の部合計	10,468
		当年度消費支出超過額	134
		前年度繰越消費支出超過額	7,185
		基本金取崩額	133
		翌年度繰越消費支出超過額	7,187

【注記】

- *表Ⅰ・表Ⅱ 計算期間 2014（平成26）年4月1日から2015（平成27）年3月31日まで
- *表Ⅲ 2015（平成27）年3月31日現在
- *資金収入調整勘定……期末未収入金および前期末前受金を調整
- *資金支出調整勘定……期末未払金および前期末前払金を調整
- *基本金……学校法人が諸活動の計画に基づき、必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして帰属収入から組み入れた金額
- *内訳は百万円未満の端数を四捨五入しているため、合計等が一致しないことがあります。

◆ 2015（平成27）年度 保護者会・後援会役員会

6月16日（火）午前10時から、徳島キャンパス国際会議室において「2015（平成27）年度 保護者会・後援会役員会」が役員63人、本学教職員35人が出席し開催されました。

議事として2014（平成26）年度会計決算報告と承認、監査報告、役員改選、2015（平成27）年度事業計画・予算案等が審議され、いずれも承認されました。役員会終了後は、大勢の学生で賑わう7号館パウゼ（食堂）で学食体験を行い、大学教職員も交えて歓談いただきました。また、昼食後の2号館アカンサスホールの施設見学にも多数で参加いただきました。

午後1時から、学園長室で保護者会支部長会が開催され、各支部の支部役員と担当者により、8月から15府県16会場で開催される支部会の日程・会場の確認、支部総会や個別面談など支部運営について協議が行われました。

2015（平成27）年度の役員の方は右のとおりです。ご協力よろしくお願ひします。

保護者会

会長 田村 祥祐（再任）
副会長 本城 学（再任）
日切 清（再任）
香西 邦信（新任）
監事 谷口 真紀（再任）
坂野 洋子（再任）
遠藤美奈子（新任）

後援会

会長 中西 文夫（再任）
副会長 神田 睦（再任）
四宮 肇（再任）
監査 福島 誠浄（再任）
神崎 千寿（再任）
(敬称略)

◆ 「在学生保護者のためのキャンパス見学会」のお知らせ

オープンキャンパスの開催に合わせ、在学生の保護者の皆さまにもご参加いただける見学会を企画しております。お子さまの学ばれるキャンパスで教育環境をご覧ください。

参加のお申し込み、無料送迎バスのご予約につきましては9月上旬にホームページにてご案内いたします。保護者の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

徳島キャンパス

9月26日(土)

香川キャンパス

9月27日(日)



昨年度の様子

◆ 2015 (平成 27) 年度 新任教職員プロフィール

①出身地 ②最終校 ③博士号 ④前任 ⑤所属等

まつば 秀樹

①徳島県 ②東京教育大学大学院体育学研究科健康教育学専攻修士課程 ③教育学博士 ④徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部教授 ⑤教授・人間生活学部人間生活学科

たかはし 高橋 宏之

①兵庫県 ②同志社大学大学院文学研究科博士(後期)課程心理学専攻 ④名古屋少年鑑別所所長 ⑤教授・人間生活学部心理学科

いけだ 文夫

①香川県 ②愛媛県立松山工業高等学校建築科 ④西松建設(株)西日本支社建築設計部長 ⑤教授・人間生活学部建築デザイン学科

ふかだ 深田 俊幸

①神奈川県 ②大阪大学大学院医学系研究科博士課程 ③博士(医学) ④昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔生理学部門助教 ⑤教授・薬学部薬学科

たなか 田中 好幸

①広島県 ②大阪大学大学院理学研究科無機及び物理化学専攻博士(後期)課程 ③博士(理学) ④東北大学大学院薬学研究科・機能分子変換学分野准教授 ⑤教授・薬学部薬学科

よしだ 吉田 昌裕

①愛知県 ②東北大学大学院薬学研究科博士(後期)課程 ③博士(薬学) ④徳島大学大学院ヘルスパイオサイエンス研究部准教授 ⑤教授・薬学部薬学科

はり 張 功幸

①徳島県 ②大阪大学大学院薬学研究科博士(後期)課程 ③博士(薬学) ④大阪大学大学院薬学研究科准教授 ⑤教授・薬学部薬学科

はやかわ 早川 勝

①京都府 ②同志社大学大学院法学研究科私法学専攻修士課程 ④同志社大学法科大学院司法研究科教授 ⑤教授・総合政策学部総合政策学科

あおの 青野 透

①石川県 ②同志社大学大学院法学研究科博士(後期)課程 ④金沢大学大学教育開発・支援センター教授 ⑤教授・総合政策学部総合政策学科

とこざくら 床桜 英二

①徳島県 ②広島大学政経学部経済学科 ④徳島県危機管理部長 ⑤教授・総合政策学部総合政策学科

ふくしま 福島 道子

①佐賀県 ②東洋大学社会学研究科社会福祉学専攻博士(後期)課程 ③博士(社会福祉学) ④国際医療福祉大学保健医療学部看護学科長・教授 ⑤教授・保健福祉学部看護学科

くろだ 黒田(佐藤) 裕子

①愛媛県 ②聖路加看護大学看護学研究科博士(後期)課程 ③博士(看護学・学術博士) ④北里大学看護学部看護学科及び大学院クリティカルケア看護学教授 ⑤教授・保健福祉学部看護学科

あずま 東 敬次郎

①大阪府 ②徳島大学医学部医学科 ③医学博士 ④徳島市民病院産婦人科診療部長・徳島大学医学部臨床教授 ⑤教授・保健福祉学部看護学科

おおまち 大町 福美

①福岡県 ②国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科修士課程保健医療学専攻看護学分野 ④聖マリア学院大学看護学部看護学科・同大学院看護学研究科看護学専攻准教授専任、同助産学専攻准教授兼務 ⑤教授・保健福祉学部看護学科

なかがわ 中川 隆文

①熊本県 ②宮崎大学大学院工学研究科応用物理学専攻修士課程 ③工学博士 ④三菱電機(株)中央研究所 ⑤教授・保健福祉学部臨床工学科

まつざき 松崎 健司

①徳島県 ②徳島大学大学院医学研究科博士課程 ③医学博士 ④徳島大学医学部附属病院准教授、放射線部副部長 ⑤教授・保健福祉学部診療放射線学科

かわい 河合 浩行

①兵庫県 ②大阪大学大学院基礎工学研究科博士(前期)課程物理学専攻制御工学分野 ③博士(工学) ④ルネサスエレクトロニクス(株)第二ソリューション事業本部産業第一事業部担当課長 ⑤教授・理工学部電子情報工学科

さかい 坂井真奈美

①広島県 ②県立広島大学大学院総合学術研究科人間文化学専攻栄養科学研究分野 ④鈴峯女子短期大学食物栄養学科准教授 ⑥教授・短期大学部生活科学科食物専攻

きたとう 佐藤 章

①高知県 ②関西学院大学法学部政治学科 ④高知県立高岡高等学校校長 ⑤准教授・一般総合科目兼入試広報部副部長

よこやま 横山 賢治

①香川県 ②静岡大学理学部数学科 ④香川県立高松商業高等学校校長 ⑤准教授・一般総合科目兼香川キャンパス学生部副部長兼保健センター長

たけはら 竹原 明美

①徳島県 ②広島大学教育学部高等学校教員養成課程家政専攻 ④徳島県立那賀高等学校校長 ⑤准教授・人間生活学部人間生活学科

たにの 谷野 公俊

①大阪府 ②近畿大学大学院薬学研究科薬学専攻博士(前期)課程 ③博士(薬学) ④近畿大学薬学部講師(生物薬剤学) ⑤准教授・薬学部薬学科

うえの 上田伊佐子

①岡山県 ②徳島大学大学院保健科学教育部看護学領域博士(前期)課程ストレス緩和ケア看護学 ④川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学講師 ⑤准教授・保健福祉学部看護学科

たけうち 竹内 理恵

①徳島県 ②徳島大学大学院人間・自然環境研究科修士課程人間環境専攻 ④徳島市千松小学校養護教諭 ⑤講師・人間生活学部人間生活学科

まつばら 松原 恵子

①徳島県 ②近畿大学法学部法律学科 ④徳島文理大学短期大学部・徳島文理大学非常勤講師 ⑤講師・人間生活学部食物栄養学科

ただ 多田 優子

①徳島県 ②徳島大学教育学部中学校教員養成課程 ④神山町神領小学校校長 ⑤講師・人間生活学部児童学兼徳島キャンパス教務部教務グループ課長

つむり 津守 美鈴

①徳島県 ②鳴門教育大学大学院(教育方法コース) ④脇町中学校校長 ⑤講師・人間生活学部児童学科

かわばた 川端 恵子

①徳島県 ②鳴門教育大学大学院幼児教育コース ④鳴門市立撫養幼稚園園長 ⑤講師・人間生活学部児童学科

いわさき 岩崎 順江

①徳島県 ②鳴門教育大学大学院学校教育専攻修士課程 ④徳島市立渭東保育所所長 ⑤講師・人間生活学部児童学科

かさい 笠井 敬正

①徳島県 ②徳島大学大学院工学研究科 ④徳島県立徳島科学技術高等学校教諭 ⑤講師・人間生活学部建築デザイン学科

まつもと 松本 健司

①広島県 ②徳島大学大学院薬学研究科薬品科学専攻博士課程 ③博士(薬学) ④九州大学先導物質化学研究所助教 ⑤講師・薬学部薬学科

にしおか 西岡 幹人

①徳島県 ②徳島文理大学工学部臨床工学科 ④徳島大学病院診療支援部臨床工学技術部門 ⑤講師・保健福祉学部臨床工学科

やまもと 山本 義浩

①京都府 ②同志社大学大学院文学研究科博士(前期)課程英文学・英語学専攻 ④同志社国際高等学校非常勤講師 ⑤講師・文学部英語英米文化学科

まつもと 松本 功

①香川県 ②法政大学通信教育部文芸部地理学科 ④香川県立高松工芸高等学校教諭 ⑤助手・理工学部機械創造工学科

きのまゆこ 佐野真由子

①徳島県 ②徳島文理大学人間生活学部食物栄養学科 ⑥実験助手・人間生活学部食物栄養学科

ますい 増井 貴俊

①徳島県 ②関西学院大学法学部法律学科 ⑤総務部事務職員

いのうち 井内 孝明

①徳島県 ②鳴門教育大学大学院学校教育研究科教科領域教育専攻言語系(国語)コース修士課程 ④小松島市芝田小学校校長 ⑤徳島キャンパス就職支援部事務職員

学園からのお知らせ

徳島文理大学附属幼稚園

◇一般見学説明会 開催

入園を検討されている方、興味のある方向けに説明会を実施いたします。

日時：9月12日(土) 開始9時30分(10時30分終了予定)

場所：徳島文理大学附属幼稚園

また、電話予約でいつでも見学することができます。

下記の電話番号までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

徳島文理大学附属幼稚園 TEL (088) 653-4941

徳島文理小学校

◇入試説明会 開催

入学志願者へ、過去の入学試験を参考にして具体的にご説明します。お気軽にご参加ください。

日時：10月24日(土) 受付開始9時～、開会9時30分

(11時終了予定)

※事前予約不要・駐車スペースあり

また、徳島文理小学校では、学校見学を随時受け付けております。学校見学ご希望の方は、事前にお電話でご連絡ください。

【お問い合わせ】

徳島文理小学校 TEL (088) 652-5567

(お電話受付時間 平日8時～16時30分 土曜日8時～12時30分)

徳島文理中学校・徳島文理高等学校

◇入試説明会 開催

徳島文理中学校・徳島文理高等学校の入試の要項を説明します。授業体験や入試問題の講習会を実施いたしますので、受験生、小・中学校在生、保護者の方、その他ご関心のある方はぜひご参加ください。

コンクール・コンサート日程

第7回 徳島音楽コンクール 開催 (応募受付中)

本コンクールは、音楽学習者の能力を育むとともに、徳島県民はもとより県外の皆さんにも広く音楽への関心を高めることを目的としています。グランプリを受賞された方には2016(平成28)年秋に開催されるコンサートで一流オーケストラと共演する機会が与えられますので、ぜひご応募ください。

日程：10月11日(日)・10月12日(月)祝

会場：徳島文理大学(徳島キャンパス)

応募受付期間：8月20日(休)～9月5日(土)

第7回 徳島音楽コンクール入賞記念ガラコンサート

日時：11月7日(土) 午前開演

(開演時間は、出演者数によって決定いたします。詳細については、下記公式ホームページをご覧ください)

会場：むらさきホール(徳島キャンパス)

【HP】http://wwwt.bunri-u.ac.jp/ongaku/tmc04/

日時：9月19日(土)	受付開始・本館校舎自由見学	13時～
	入試問題講習会・授業体験	14時30分～
	保護者対象説明会	15時50分～
	個別相談(希望者のみ)	16時30分～

※事前予約不要・駐車スペースあり

【お問い合わせ】

徳島文理中学校・徳島文理高等学校 入試広報室

TEL (088) 626-1225

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部

◇2015(平成27)年 オープンキャンパス 開催中

高校生やその保護者など、本学に興味がある方を対象としたオープンキャンパスを開催しております。

学科説明会や模擬授業、入試イベントなど、多彩なプログラムで皆さまのお越しをお待ちしております。

徳島	日時：8月23日(日)・9月26日(土) 11時～16時
香川	日時：8月22日(土)・9月27日(日) 11時～15時30分

※無料送迎バスのご予約は、お電話または Web で

【お問い合わせ】 フリーダイヤル 0120-602455

【HP】http://www.bunri-u.ac.jp

◇大学祭のお知らせ

10月に開催される徳島&香川キャンパスの大学祭は、模擬店や展示をはじめ、クラブ・サークル、県人会活動の日ごろの練習の成果を披露する各種ステージなど、催しが盛りだくさんです。大学祭は学外の人も自由に参加できます。

徳島 山越祭	日時：10月16日(金)・17日(土)・18日(日)
香川 杏樹祭	日時：10月31日(土)・11月1日(日)

2015(平成27)年度 徳島文理大学ウインドオーケストラ定期演奏会

日時：11月1日(日) 14時開演

会場：むらさきホール(徳島キャンパス)

第58回 徳島文理大学定期演奏会

香川 日時：11月21日(土) 14時開演

会場：村崎サイメモリアルホール(香川キャンパス)

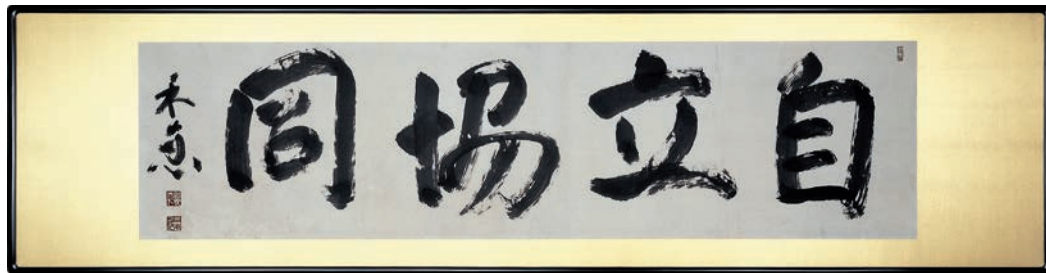
徳島 日時：11月22日(日) 14時開演

会場：むらさきホール(徳島キャンパス)

文理OBオーケストラ 第16回 定期演奏会

日程：2016(平成28)年3月19日(土) 18時30分開演

会場：むらさきホール(徳島キャンパス)



徳島文理大学の建学精神

「自立協同」の建学精神は、学祖村崎サイが1895年（明治28年）7月徳島に私立裁縫専修学校を設立した歴史に由来する。学祖は、「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念を持ち「女性の自立」を唱えて村崎学園を創立した。1945年（昭和20年）7月、学園は戦火に包まれ灰燼に帰し、村崎サイも学園と運命を共にした。その年の秋、戦野から帰還した村崎凡人理事長は、学園の復興に精魂を傾け、総合学園の建設をめざした。その過程で、「他からの協力、他への協力なくして、『人間の自立』はあり得ない」との確信に至り、学祖村崎サイの精神を受け継ぎ、「村崎学園」の建学精神を「自立協同」としたものである。この建学精神の意味するところは、生育してゆく人間として、「自立」は重要な到達目的であり、「協同」は「自立」を具現化する方法、とするものである。「協同」は「力を合わせて物事をする」ことなので、個としての「自立」は、「協同」すなわち「他からの協力、他への協力」という体験の中で促される。「ヒト」はその体験を通して人間的な成長を遂げる。学園における教養的教育、専門的学術・芸術探求の教育は、まさに「人間の自立」を促す「協同」の場であらねばならない。爾来、本学はこのような学園の歴史に基づいた「自立協同」の建学精神のもと、教育を推進し、幼、小、中、高、大学、短大併せて9学部26学科、5大学院、3専攻科、そして、6研究所、1相談室を有する総合学園として発展してきた。今後とも建学の精神のもと、ますます精進し、学術・芸術の探究を通して未来を創造する大学でありたいと願っている。

2015 (平成 27) 年 オープンキャンパス日程

徳島キャンパス (11:00~16:00)

9月26日(土)

香川キャンパス (11:00~15:30)

9月27日(日)

◆◆ 無料送迎バスのご予約は ◆◆
お電話または Web で

☎ 0120-60-2455

<http://www.bunri-u.ac.jp>

徳島キャンパス (徳島県徳島市山城町)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程) / 人間生活学研究科(博士課程) / 看護学研究科(修士課程) / 総合政策学研究科(専門職学位課程)
- 専 攻 科……人間生活学専攻科(児童学専攻・人間生活学専攻) / 助産学専攻科 / 音楽専攻科(器楽専攻・声楽専攻)
- 薬 学 部……薬学科
- 人間生活学部……食物栄養学科 / 児童学科 / 心理学科 / メディアデザイン学科 / 建築デザイン学科 / 人間生活学科
- 保健福祉学部……理学療法学科 / 看護学科 / 人間福祉学科
- 総合政策学部……総合政策学科
- 音 楽 学 部……音楽学科
- 短期大学部……商科 / 言語コミュニケーション学科 / 生活科学科 / 保育科 / 音楽科

香川キャンパス (香川県さぬき市志度)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程) / 工学研究科(博士課程) / 文学研究科(博士課程)
- 香川薬学部……薬学科
- 保健福祉学部……診療放射線学科 / 臨床工学科
- 理 工 学 部……ナノ物質工学科 / 機械創造工学科 / 電子情報工学科
- 文 学 部……文化財学科 / 日本文学科 / 英語英米文化学科

徳島文理大学ホームページ

<http://www.bunri-u.ac.jp>



校章の由来…Acanthus とは、アカンス属の一種、アカンス・モルリスの葉で、別名ハアザミ。その刺は、事に当たって厳正、的確に処理する優れた知性を、その葉は古代ギリシャの美または芸術に通ずる豊かな情操を具象化し、本学の建学精神である「自立」を具現化した科学と芸術を示すものとして校章に制定されました。